

1. 予算編成にあたって

令和6年は、市制施行70周年と辰年が重なるスペシャルイヤー。「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」の取り組みを本格化させる、「龍ヶ崎市の年」です。

本市は、令和6年3月20日に市制施行70周年という節目を迎えます。令和6年度においても、引き続き市民の皆さんと龍ヶ崎市の「古希」をお祝いするための事業・イベントを展開してまいります。さらに、この節目が「辰年」という運命的な巡りあわせでもあり、令和6年はまさに「龍ヶ崎市の年」と捉えています。

振り返れば、これまで、台風や地震などの自然災害、新たな感染症の蔓延、さらには社会のグローバル化や少子化に端を発する人口減少・地域経済の縮小など、経験や想定もしなかった事象や時代の潮流による、市政運営を取り巻く厳しい環境に、市民に最も近い基礎自治体として、しっかりと役割を果たすべく、対応してまいりました。

令和6年度は、エネルギー価格の高騰や円安の進行による物価の上昇と、それに対応した賃上げなどにより、歳出圧力が高まる厳しい状況にあっても、将来に向けた本市のあるべき姿を実現し、様々な行政課題を打破すべく、本市の最上位計画である、「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」の取り組みを軌道に乗せ、さらには充実を図るため、「未来創造プロジェクト」、「魅力創造プロジェクト」、「幸せ創造プロジェクト」の3つのリーディングプロジェクトに、重点的かつ優先的に取り組みます。

また、本市の小中一貫教育のモデルとなる「長山中学校区小中一貫校」や、「新保健福祉施設」の整備がそれぞれ本格化するほか、「遊び」「レクリエーション」の分野では、市内外の皆さんに親しまれご利用いただいている「森林公園」を、民間の力をお借りして、より魅力あふれる施設になるようリニューアルいたします。

様々な行政課題を克服しながら、本市を茨城県南の中心的な都市として成長させてきた先人や関係各位に改めて感謝申し上げるとともに、つないだ時を未来へ残すための様々な取り組みを今後も着実に紡ぎながら、「龍ヶ崎の新時代」、輝かしい未来への思いを、市民の皆さんとともに共有し続けたいと切に願っております。

ご理解、ご協力をお願いいたします。

龍ヶ崎市長 萩原 勇